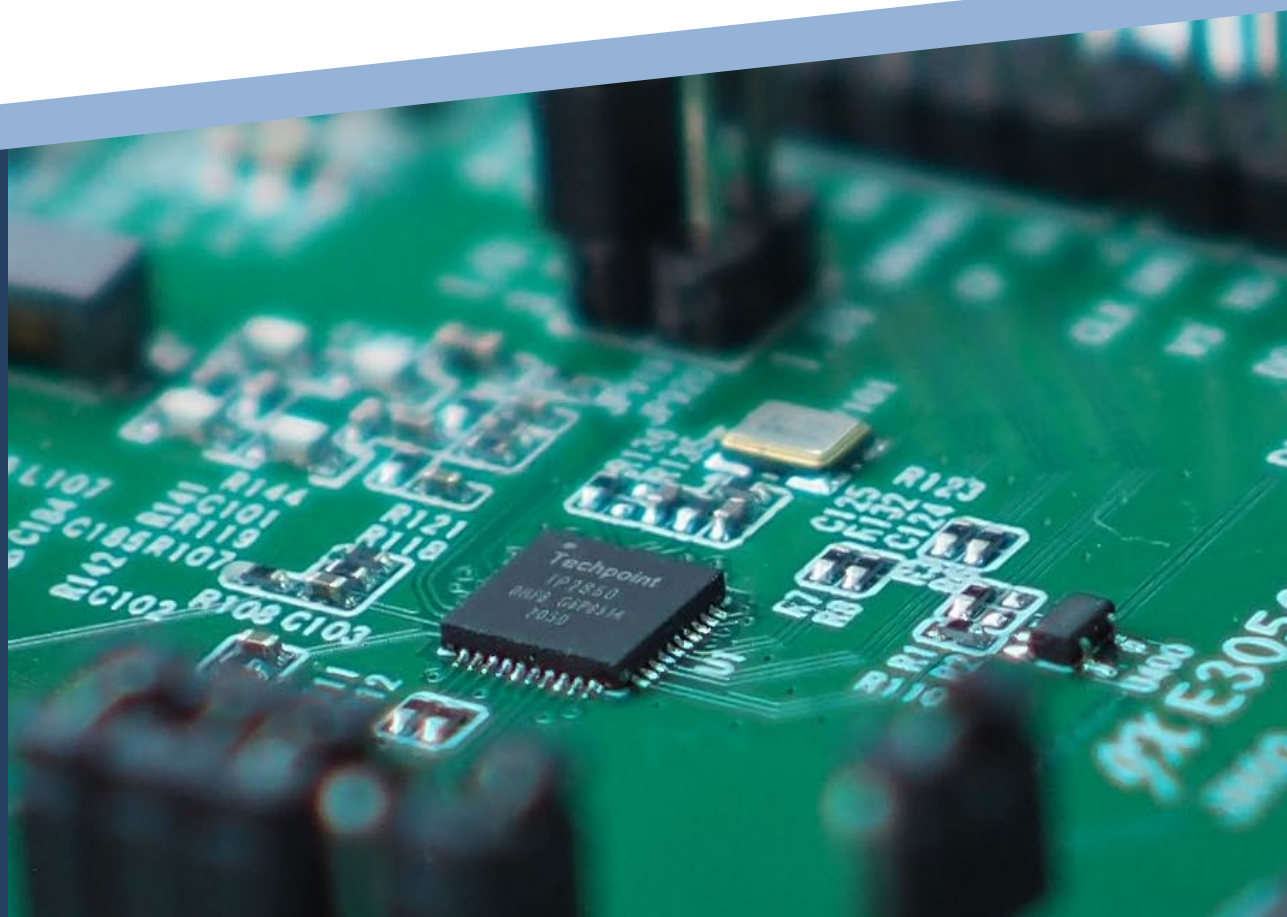


# Techpoint

テックポイント・インク

2024年12月期 第2四半期(中間期) 決算ハイライト

証券コード 6697  
東証外国株グロース  
2024年8月





## 本日のアジェンダ

I 2024年12月期 中間期 決算の概要

II 2024年12月期 業績予想の概要

III 収益の還元について





## I 2024年12月期 中間期 決算の概要

(注)

当社の連結財務書類は米ドルで表示されています。

本資料において円で表示している業績数値は、  
便宜上 1 米ドル=161.07円で換算された金額です。





## II 半導体関連市場の在庫調整継続の中、シェアを拡大した車載向けが好調、売上高は前年同期比12.4%増、Non-GAAP中間純利益は16.7%増

1. 世界全体の半導体需要は、AI関連を例外として、今上期も低調に推移。車載向けが新規取引・新規案件獲得により市場シェアを拡大、前年同期比（以下同じ）増収となったが、防犯カメラ分野は取引先の在庫調整長期化により同減収となった
  - ・ 売上高は前年同期比(以下同じ) **12.4%増** の 33,090千米ドル (5,329百万円)
  - ・ 売上総利益は同 **10.3%増** の 17,505千米ドル (2,819百万円)  
売上総利益率は、販売製品構成比の変化により、52.9%と同 **1.0ポイント低下**
  - ・ 営業利益は、同 **13.8%増** の 8,462千米ドル(1,362百万円)
  - ・ 純利益は、同 **17.4%増** の 8,716千米ドル(1,403百万円)
2. Non-GAAP指標の純利益は同 **16.7%増**の 9,416千米ドル(1,516百万円)





### 3. 製品市場別

#### ○車載カメラ向け半導体

前年同期比 **32.8%の増収** : 24.8百万米ドル (4,005百万円) の売上

- ・新規取引先、新機種での採用の努力が奏功し、全体的に縮小した市場の中で増収を達成

#### ○監視カメラ向け半導体

前年同期比 **23.2%の減収** : 8.2百万米ドル (1,324百万円) の売上

- ・製品の監視カメラのユーザー需要に回復は見られるが、カメラメーカーの部品在庫はいまだ高水準、部品の追加調達が以前の水準に戻るには2024年いっぱいまで長引く可能性

○当社売上高に占める車載半導体比率は**75.1%**と第1四半期に続き高水準

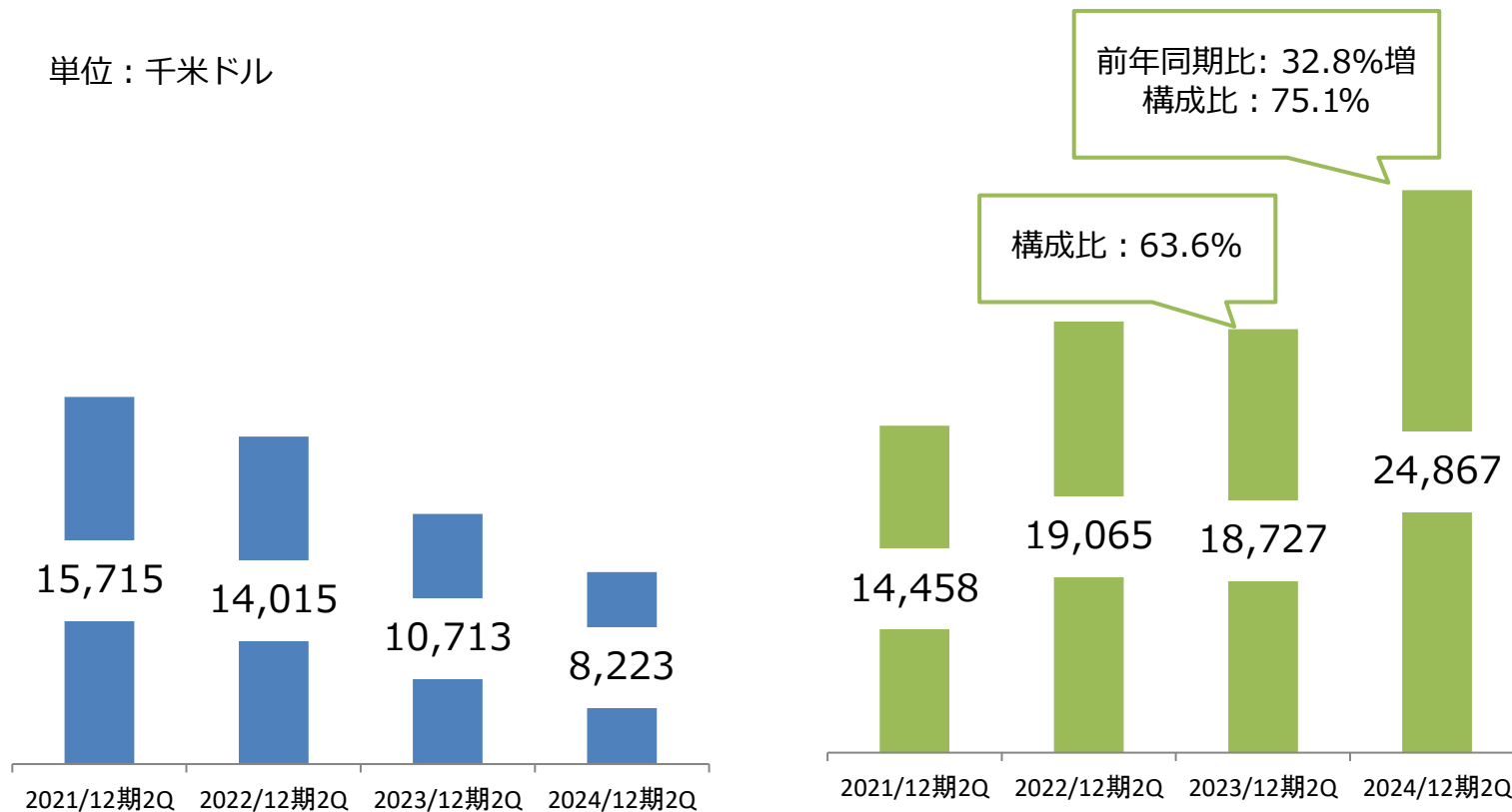
○地域別では、中国車載機器生産の成長により中国が高水準





■ 監視カメラ向け半導体は、  
 販売先の部品需要減の影響を受け減収  
 車載カメラ向け半導体は、出荷数増加により増収

単位：千円ドル



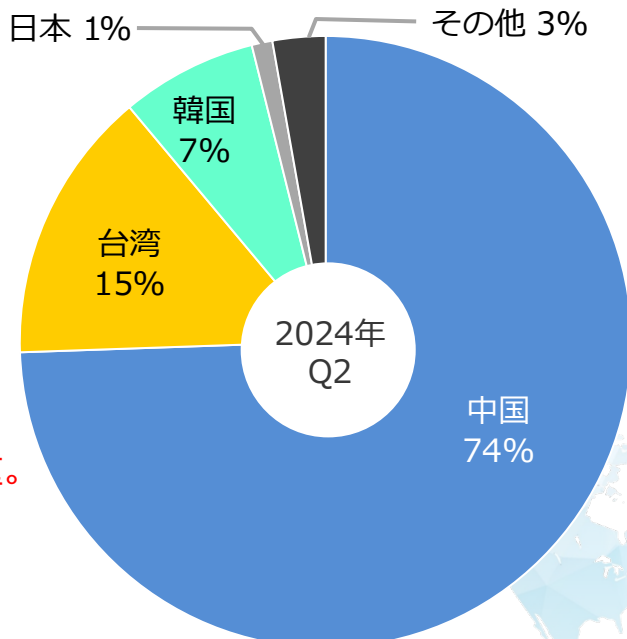
監視カメラ向け半導体売上高

車載カメラ向け半導体売上高





# 地域別売上比率は、中国車載機器生産の成長により中国が高い占率をキープ、韓国・日本が減少

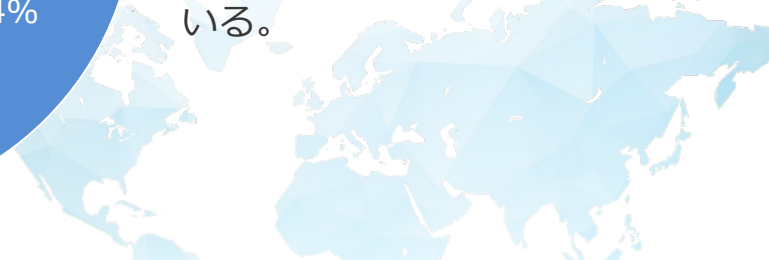


■ 当社半導体部品の販売先は車載カメラ・防犯カメラ機器のメーカー工場（中国に多い）

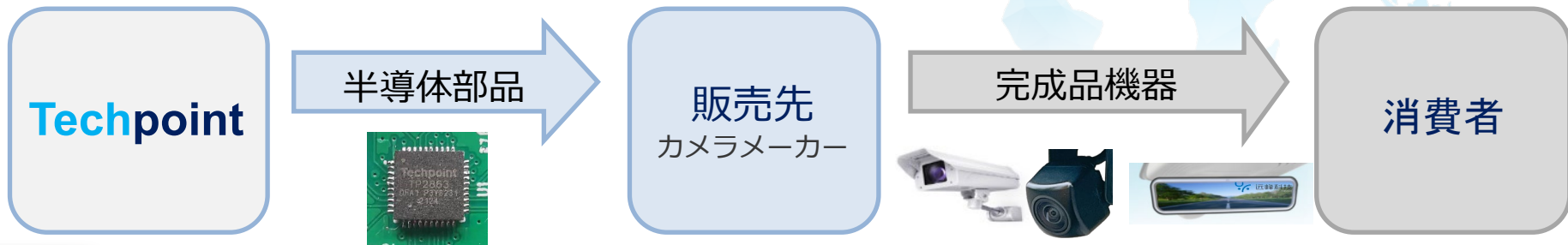
■ 売上の3/4を占める中国は、消費地としては1/4程度の比重。車載機器の消費が多い日本は15%程度の比重。

■ 完成品のカーナビ・防犯カメラ等の電子機器のユーザーは世界中に分散

東南アジア・インド・欧州・中近東・中南米・北米などで使われている。



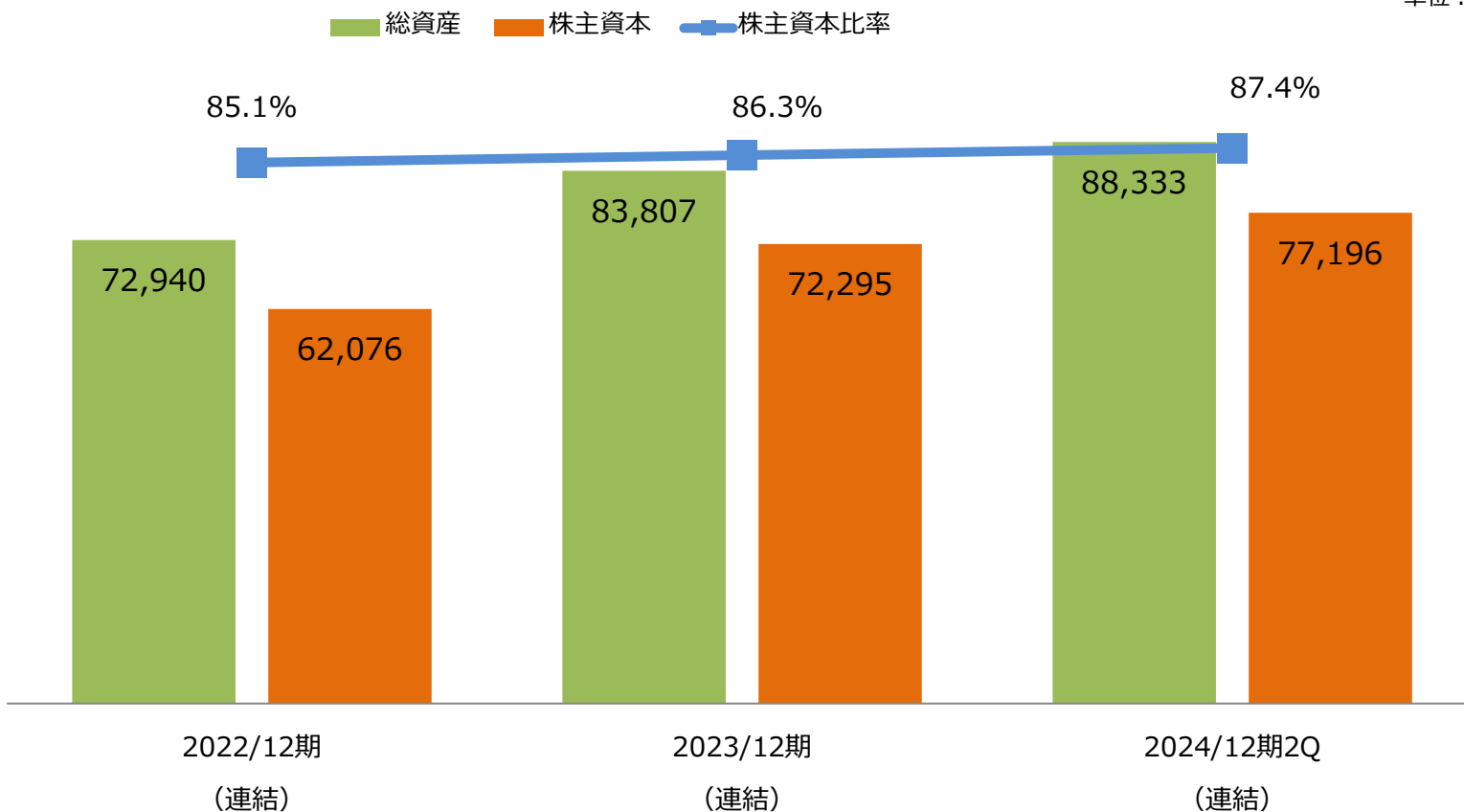
地域別販売構成比





# 強固な財務基盤を維持、 2024/12期中間期の株主資本比率は87.4% - 無借金&ほぼすべての販売代金は前金制

単位：千米ドル







## Ⅱ 2024年12月期 業績予想の概要

(注)

当社の連結財務書類は米ドルで表示されています。

本資料において円で表示している業績数値は、  
便宜上 1 米ドル=161.07円で換算された金額です。





世界半導体の在庫調整継続（除くAI関連）の影響を受け、半導体市場全般は横這いか微増となる予想の中、**当社売上高は10.0%増を予想**

今後の成長に向けた積極的な開発投資を計画、利益面は若干の減益を予想

1. 通期売上高は、前期比**10.0%増**の**72.2百万米ドル**（11,630 百万円）を予想
2. 積極的なテープアウト計画、IPライセンス関連費用を見込み、**研究開発費**は前期比3.1百万ドル増（43.0%増）の10,266百万米ドルを計画、過去最大規模になる見通し
3. 大幅増のR&D負担後の通期**営業利益**は、**前期比3.9%減**の17.3百万米ドル（2,790 百万円）を予想
4. 通期**当期純利益**は、前期比3.4%減の17.2百万米ドル（2,770 百万円）を予想
5. Non-GAAP当期純利益は、2.9%減の18.6百万米ドル（2,999百万円）を予想
6. 1株当たり当期純利益は94セント（151円）を予想
7. 1株当たりNon-GAAP当期純利益は1ドル2セント（164円）を予想

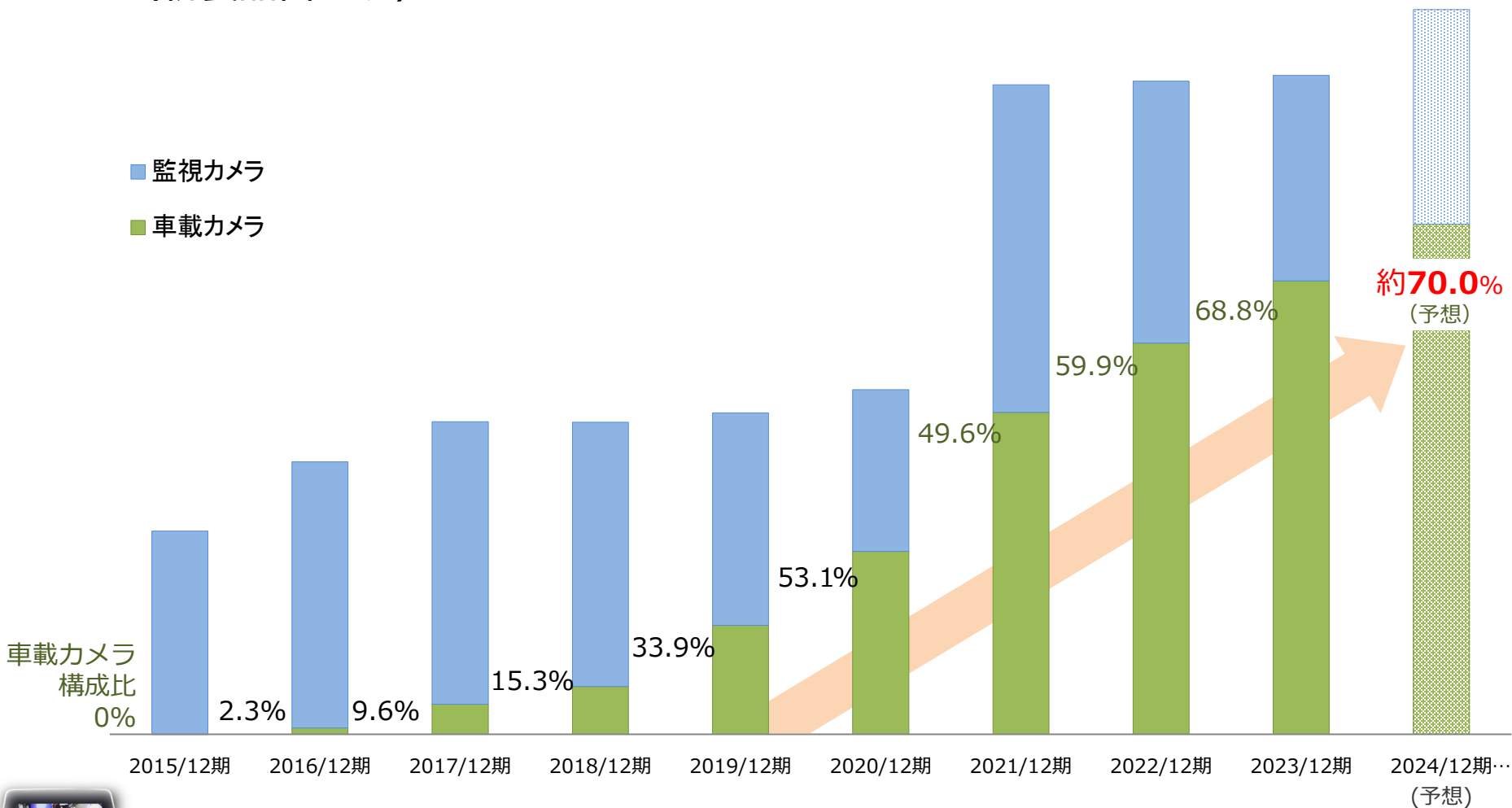
\* 当社は配当性向を約50%とする方針を公表しておりNon-GAAP純利益をもとに計算します





# 車載カメラ向け半導体の比率は増加トレンドで推移

## 2024/12期は、2023/12期を上回る構成比約70%を予想 （新製品含めず）

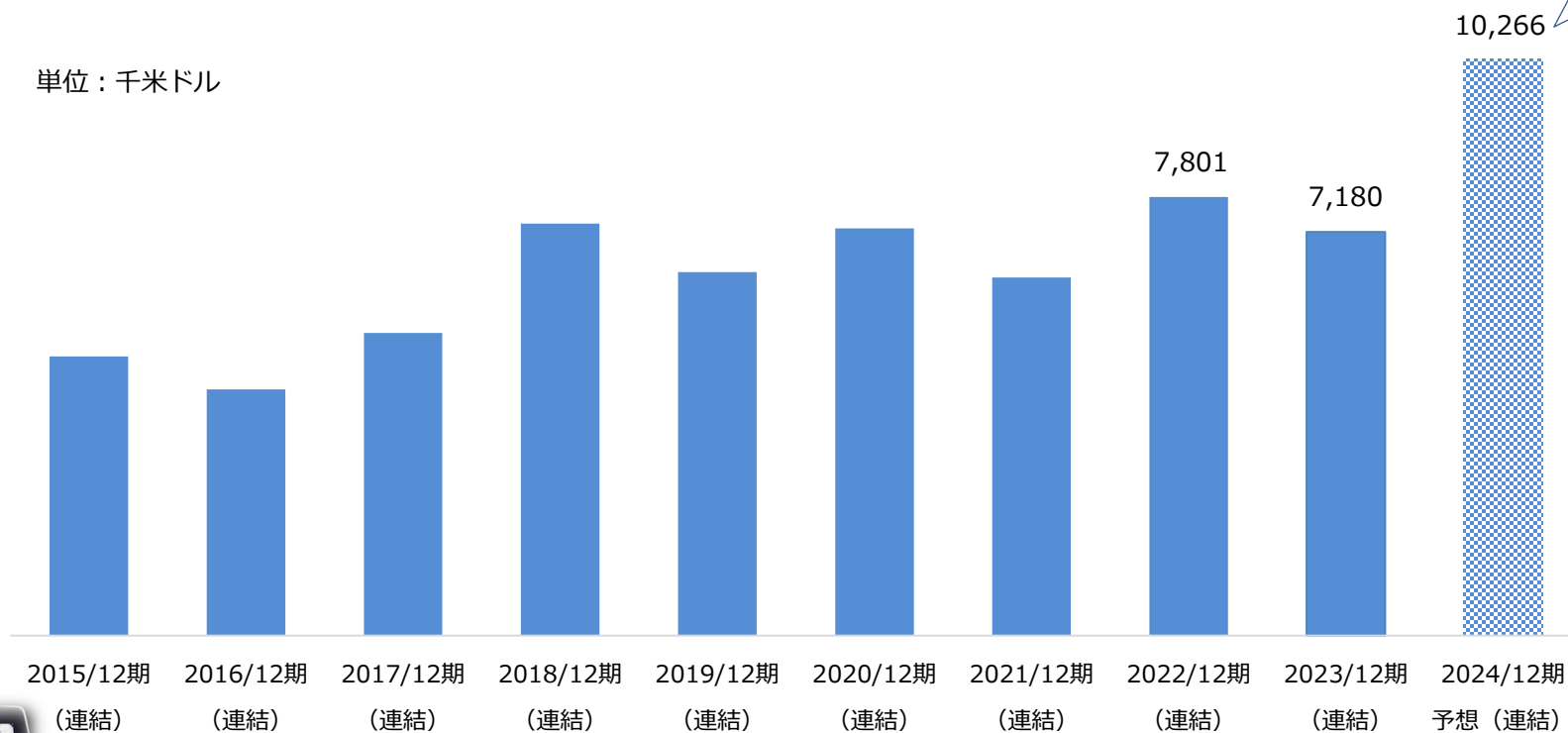




2024/12期の研究開発費は、積極的な新製品試作（テープアウト）を計画、また、知的財産ライセンス関連費用の増加を見込み、前期比3.1百万ドル増（43.0%増）の**10百万ドル**を計画、**過去最大規模**になる見通し

前期実績比  
**43.0%増**  
予想

単位：千米ドル





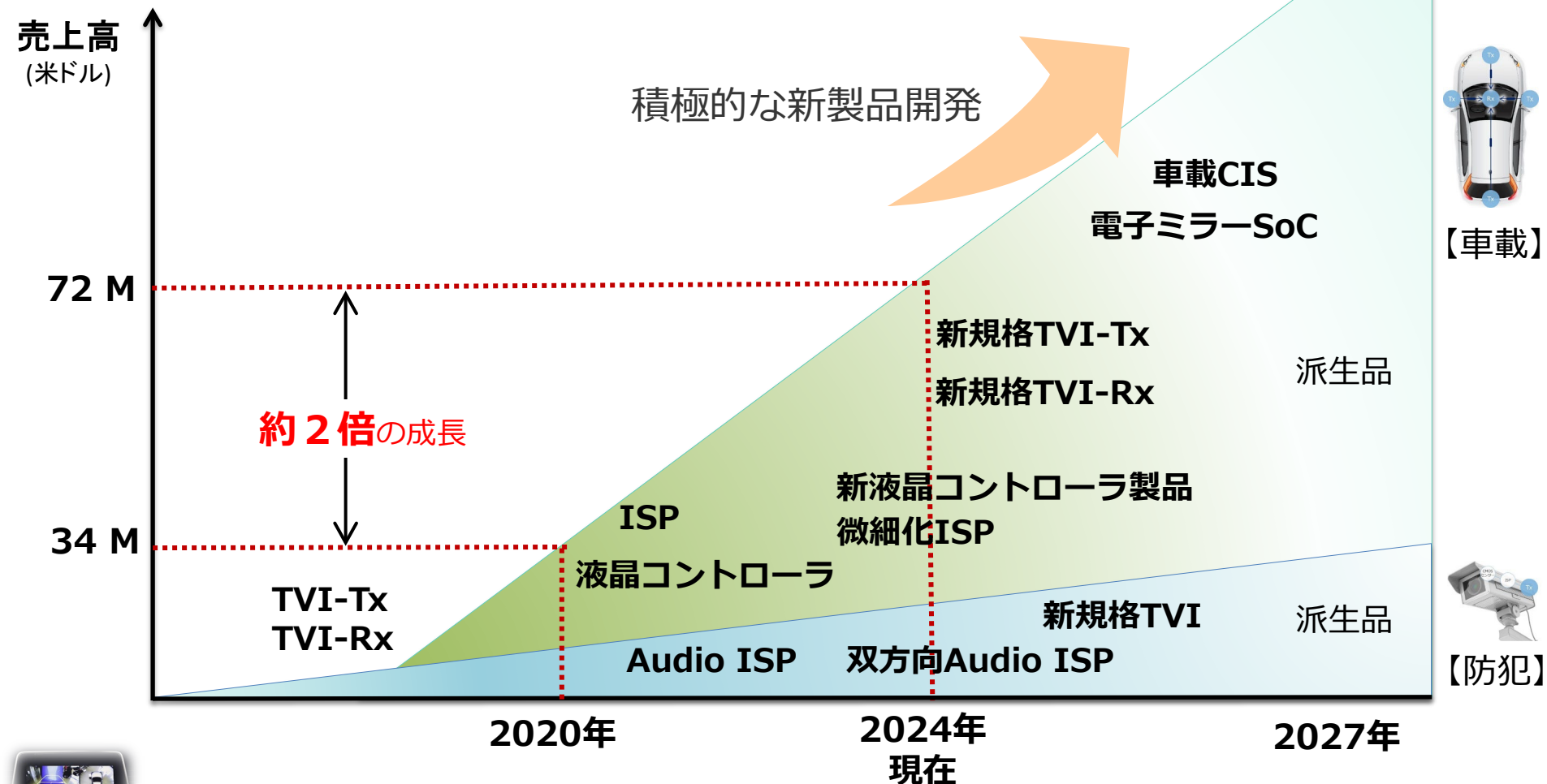
# 2024年度以降の成長エンジンとなり得る戦略商品 他社への競争優位をさらに大きくする狙い

- 1 ISP (+Tx) のノードの微細化 → 設計中・生産委託先との相談中  
2024年後半から収益寄与
- 2 【車載】画像AIを含む一連の機能を備えたSoCの開発 → 開発中  
トータルソリューションの完成
- 3 【車載】新しいTVI規格 → ノイズ耐性を向上させる改良規格を開発中  
自動車メーカー純正品への参入を目指す
- 4 【車載】CMOSイメージセンサー → 開発に向け着手
- 5 ハイビジョンドアフォン用の半導体製品 → 2023年4Qから量産を開始済み
- 💡 【防犯】CMOSイメージセンサー → 積極的な販売促進を保留  
ドル高による価格競争力不利のためコストダウンに取組み中
- 💡 双方向音声対応のISP+Tx・Rx用半導体製品 ⇒ 量産中
- 💡 液晶ディスプレイコントローラー ⇒ 量産出荷中/追加新製品開発中





# 2020年～2024年 売上は約2倍の成長 今後も積極的な新製品開発を継続



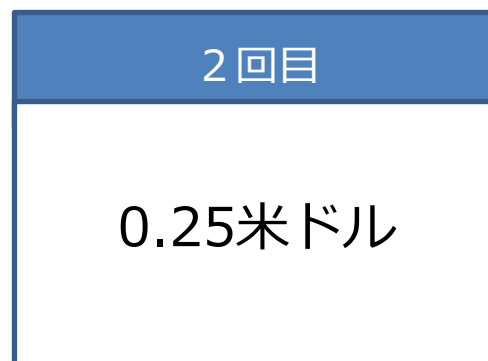
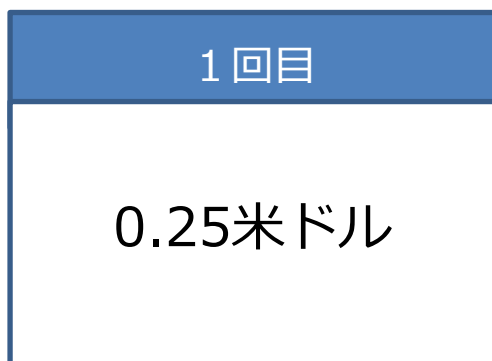


### Ⅲ 収益の還元について





# 2024年は、年額50セント（25セント×2回） Non-GAAP純利益の約50%の配当性向を目処に 配当を実施



基準日： 2024年1月31日  
分配開始： 2024年3月28日

基準日： 2024年6月28日  
分配開始： 2024年8月30日 目途

2024年の支払いは、2023年12月期着地見込みに基づき決定したものの。  
2024年12月期Non-GAAP一株当たり純利益は **1.02米ドル**を予想。







日本にお住まいの方へ

米国源泉税率は基本30%ですが、**日米租税条約**により、**10%への減免**を受けることができます

2024年の支払	普通株配当金	JDR分配金(源泉税等調整後)円建て			
		米国所得税率区分			
		0%	10%	15%	30%
1回目	25セント	37円	<b>33円</b>	31円	<b>26円</b>
2回目	25セント	39円	<b>35円</b>	33円	<b>27円</b>
1回目 + 2回目	50セント	76円	<b>68円</b>	64円	<b>53円</b>

そのための手続きには、当社JDR口座のあるお取引証券会社経由で、米国の税務当局にW8-BEN という書式を提出することが必要です。

提出方法は、**お取引証券会社にご相談ください**

